

## 大町大池藤まつり

— 兵庫県朝来市 —

兵庫県淡路県民局洲本土地改良事務所  
元 兵庫県但馬県民局朝来土地改良センター 合 田 弘

### 1. はじめに

表紙写真、写真-1 は、「藤まつり」開催中の兵庫県朝来市和田山町白井にある大町大池と大町藤公園を撮影したものである。



写真-1 「藤まつり」開催中の大町大池と大町藤公園

### 2. 大町大池の概要

大町大池は、一級河川円山川の支流東河川流域の水田と夜久野高原の畑地に農業用水を供給することを目的として、平成3(1991)年3月から平成6(1994)年7月の工期で築造した傾斜コア型フィルダムである(写真-2)。

- ・総貯水量：143,000 m<sup>3</sup>
- ・利用水深：12.0 m
- ・満水面積：0.018 km<sup>2</sup>
- ・受益面積：98.5 ha



写真-2 大町大池左岸からの一望

- ・堤高：25.5 m
- ・堤長：111.8 m

### 3. 大町藤公園の概要

山陰随一の規模を誇る大町藤公園は、約7,000 m<sup>2</sup>の敷地に周辺の山に群生する藤を移植して造った全長500 mの幻想的な藤棚があり、大町大池からの河川維持用水を利用した噴水、水車小屋等がある(写真-3)。



写真-3 大町大池から大町藤公園を一望

大町藤公園の管理運営は、白井地区の住民で構成される白井大町藤公園管理組合が行い、平成12(2000)年からは管理組合が主体となって「藤まつり」が開催されている。

藤の開花期間中(例年、見ごろは4月下旬から5月上旬ごろ)のみの開園で、期間中はライトアップイベントにも取り組んでいる(写真-4)。



写真-4 ライトアップによる幻想的な藤棚

#### 4. 夜久野高原散策

夜久野高原は、京都府との境界にある宝山（田倉山、349.7m）が約1万年も前に噴火した全面真っ黒な火山灰土からなる高原で、今では風化して肥えた大地を作り、作物を育てるのに好条件となっている。

朝来市では、夜久野高原の景観と農業を活かした持続可能な地域づくりを進めており、夜久野高原をパンフレット片手に散策した。

(1) **夜久野高原花畑** 夜久野高原にある朝来市有地約6.4haに、ボランティアの人たちが花畑を作り、訪れた皆さんに鑑賞していただくことで新たな名所を目指して「夜久野高原花畑」として公開した。

秋は9月ごろにソバ、コスモスや百日草など、春は4月ごろに桜や菜の花などの花を見ることができ（写真-5、6）。



写真-5 一面のソバ畑，白いじゅうたん



写真-6 秋花のグラデーション

(2) **夜久野高原 88ヶ所石仏めぐり** 兵庫県と京都府にまたがる夜久野高原に88ヶ所の石仏があり、古くから「夜久野高原 88ヶ所石仏めぐり」として紹介さ



写真-7 石仏めぐりの宝江山道入口

れている。これは四国88ヶ所霊場を移したもので、一番「霊山寺」から八十八番「大窪寺」まで8の字を描くように約6km、ゆっくり回って3時間程度の巡拝コースとなっている（写真-7）。

#### 5. おわりに

兵庫県では平成27（2015）年4月に「ため池の保全等に関する条例」を改正、施行した。

条例ではため池の適正な管理の徹底に加え、ため池等の有する多面的機能の発揮の促進が明記された。

その先進的な取組み事例である白井大町藤公園管理組合主体の「藤まつり」は組合設立以来、関係機関と連携しながら“地域ぐるみ”で毎年継続して実施しており、今では期間、入園者5万人を超えることもある。

大町大池の管理者である夜久野高原土地改良区の夜久理事長は「この大町大池を守り、活かし、次代に継承するため、大町大池藤まつりや夜久野高原花畑などの活動を地域ぐるみで継続的に取り組んでまいりたい」と思いを寄せられている。

兵庫県では、ため池等の多面的機能の発揮の促進について広く県民の理解を得るとともに、今後ともその意識向上を促すため、啓発活動や情報発信など「ため池保全県民運動」として展開することとしている。

#### 参 考 文 献

- 1) 大町大池築造工事に携わった有志一同：大町大池技術誌、大町大池築造工事に携わった有志一同（2018）
- 2) 白井大町藤公園管理組合：白井大町藤公園（パンフレット）、和田山町観光協会
- 3) 東河誌編纂委員会：東河誌復刻版、東河地区協議会（2015）
- 4) 朝来市農林振興課：夜久野高原花畑（アクセスマップ）
- 5) 夜久野星空の会・作るを楽しむ会：夜久野高原88ヶ所石仏めぐり（パンフレット）、福知山観光協会夜久野支部